



公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟 主催

ジュニアゴルファー
育成サポートセミナー

2019年2月5日

本日のセミナーコンセプト

- ▶ゴルフ人口を増やすためにR&A・USGAも動き始めている
- ▶ルールの大改訂の根底には「ゴルフをもっと身近にやりやすく」
- ▶大きな団体もジュニア育成プログラムを提供しはじめている。

本日解決していきたいこと

- ▶では、ジュニアゴルファーにどう提供するの？
- ▶ジュニアゴルフスクールでどう活用できるの？

13:20-14:20	第一部	ジュニアゴルフスクール活性化する3つの方法
14:30-16:00	第二部	2019年新ルール解説
16:10-16:45	第三部	ジュニア育成ブラッシュアップ

Brainstorm

第一部 ジュニアゴルフスクール 活性化する3つの方法

第一部
13:20-14:20

ジュニアゴルフスクール活性化する3つの方法

スクールのマンネリ化を防ぎ、子供たちに楽しみながら上達を提供できるツールを提供している3団体のトップから「これからのスクールのあるべき姿」と「子供たちの育成術」について学ぶ

PGAジュニアリーグ

公益財団法人日本ゴルフ協会
育成・強化本部 ジュニア普及委員会委員長
公益社団法人日本プロゴルフ協会 副会長

榎岡 充浩

The First Tee

NPO法人
ザ・ファースト・ティ・オブ・ジャパン
プログラムディレクター、ヘッドコーチ

古屋 浩

ジュニアゴルファー検定

公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟
ジュニア普及委員会 副委員長

高野 順二

個人競技なゴルフ⇒孤独

これが起因し
ゴルフ離れに繋がるケースも。

ジュニア世代に
もっとゴルフを楽しんでもらう方法



13歳以下の男女を対象に、
楽しく社交的で開放的な環境で
ゴルフを学び楽しむシステム。



時には喜び合い、時には悲しみ
感情を共有することで友情も
子供同士のコミュニティが生まれる



競技方法 レギュラーシーズン

- ◆ 8名対8名の団体戦
- ◆ 競技は二名一組となった四グループがスクランブル方式にて対戦。
- ◆ 勝敗はPGAジュニアリーグポイント加算ルール
各グループが獲得した合計ポイントにより決する。

		Flag1				Flag2				Flag3					
チーム	プレイヤー	1 ホール	2 ホール	3 ホール	チームポイント	プレイヤー	4 ホール	5 ホール	6 ホール	チームポイント	プレイヤー	7 ホール	8 ホール	9 ホール	チームポイント
A チーム	山田	3	3	3	1	山田	4	4	5	1	田村	4	5	4	0.5
	鈴木					齋藤					齋藤				
B チーム	田中	3	4	4	0	田中	4	5	6	0	加藤	4	3	5	0.5
	佐藤					清水					清水				

Flag1で3ホールのマッチの結果
2upでAチームが1ポイント獲得

Flag2で3ホールのマッチの
結果2upでAチームが1ポイント獲得

Flag3で3ホールのマッチの結果
ドローで両チーム0.5ポイント獲得

Flag2でAチームは
鈴木から齋藤に交代

Flag3でAチームは
山田から田村に交代

Flag2でBチームは佐藤から清水に交代

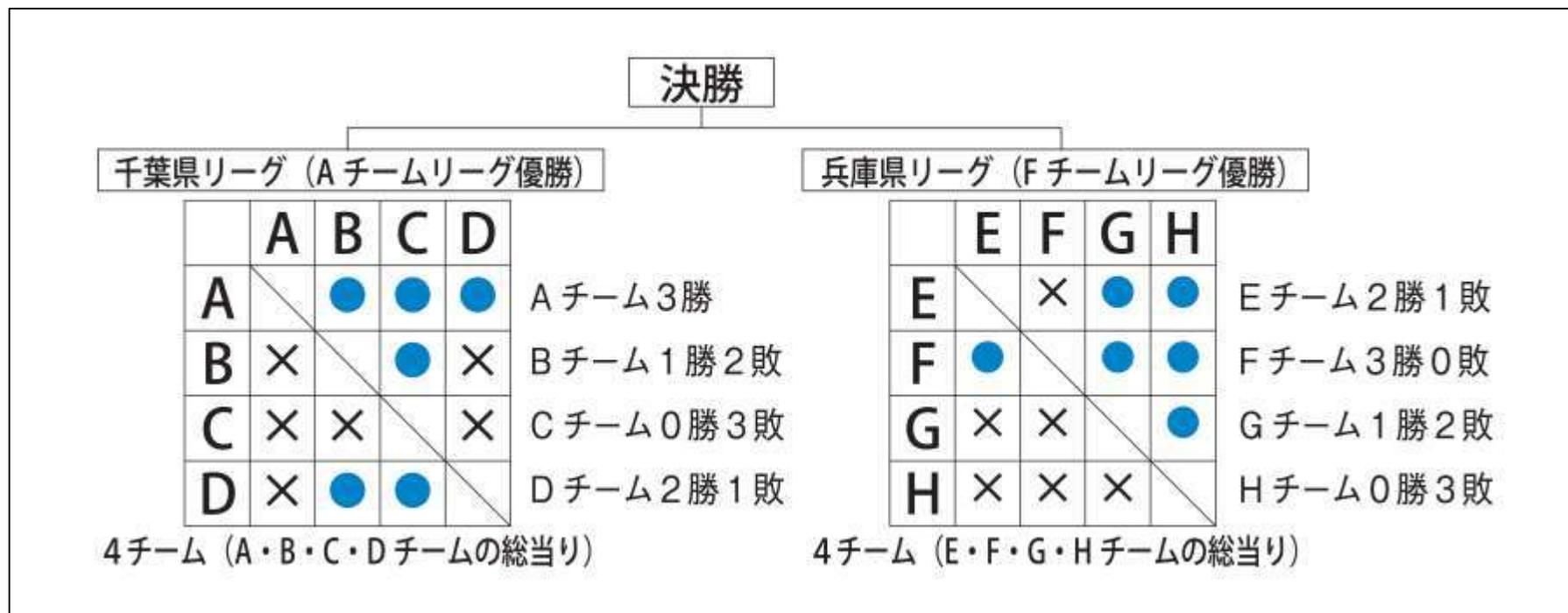
Flag3でBチームは
田中から加藤に交代

A チームポイント 2.5
B チームポイント 0.5

Copyright © 2019 公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟 All Rights Reserved.

競技方法 リーグ戦

- ◆ 総当たりのリーグ戦を行い、勝率の高いチームが、リーグ優勝チームとなります。
- ◆ リーグ戦優勝チーム同士が、決勝大会を行い総合優勝チームを決定します。



『ザ・ファースト・ティ』とは

ゴルフを通じて「子供達に人間形成、人生を豊かにする価値観を育み、将来の人生に影響を与え、健全な判断力を培う」ことを目的とした教育プログラム。

1997年に米国でスタートし、全世界で累計1,550万人以上の青少年が参加しています。日本でも、2014年に導入し、年間に延べ2000人の青少年が参加しています。

- ① 自らが審判となる唯一のスポーツ「**ゴルフ**」を通じた**人間形成**に主眼を置いています。
- ② 米国での20年間の実践および児童教育の専門家など各分野の専門家により、開発されている 段階的なプログラム体系（人生における目標設定など）で**長期継続的に受講可能**です。
- ③ 米国では、ゴルフコースだけではなく、**学校体育、放課後教育**としても実施されています。



G O L F
O P P O R T U N I T Y
F O R
C H I L D R E N



ナイン・コア・バリュー (Nine Core Values)

ザ・ファースト・ティで学ぶライフスキル（生きていく上で必要な能力）の中核となっているのは、**ナイン・コア・バリュー**と呼ばれる9つの重要なバリュー（価値）です。
プログラムでは、アクティビティの中でひとつひとつのバリューを理解・実践できるように教育します。



G O L F
O P P O R T U N I T Y
F O R
C H I L D R E N

Honesty
正直

Integrity
誠実

Sportsmanship
スポーツマンシップ

Respect
尊敬

Confidence
自信

Responsibility
責任

Perseverance
忍耐

Courtesy
礼儀

Judgement
判断

ザ・ファースト・ティプログラムで学ぶこと

プログラムでは、毎回、ナイン・コア・バリューの内のひとつがテーマとして設定され、参加者は、ゴルフを通して、このテーマや行動規範について学びます。

コーチは、ヤーデージブックと呼ばれるテキストを使ってそのテーマの意味を参加者に考えさせ、実生活にどう生かすかをディスカッションしたりします。

【例】



Responsibility
責任

プレーヤー レベル
ヤーデージブック

「プレーヤー」はゴルフコースでの行動に責任を負います。スコアを記入にしたり、ディボット跡を直したり、ボールマークを直したりして、プレーのペースを守ることはプレーヤーの責任です。

自分にとって責任とはどんな意味ですか？（書いてみましょう）



ザ・ファースト・ティの教え方：

子供たちに考えさせ、話をさせる。

- (1) Talk Less, Do More
- (2) Open-Ended Questions
- (3) GBH(Good, Better, How)

G O L F
O P P O R T U N I T Y
F O R
C H I L D R E N

『ザ・ファースト・ティ』の指導者育成について

ファースト・ティのティーチングメソッドは、マニュアルに体系化されています。

年齢・習熟度に応じたコーチング



G O L F
O P P O R T U N I T Y
F O R
C H I L D R E N



ゴルフの技量にかかわらず、コーチライセンス取得可能

コーチトレーニング（3日間）を受け
1年間の実習報告を出すことにより、プロのティーチングライセンスがなくても、未経験者・初心者にもゴルフを教えることができます。

ザ・ファースト・ティ・オブ・ジャパンのアンバサダー



G O L F
O P P O R T U N I T Y
F O R
C H I L D R E N



深堀 圭一郎プロ

今、ゴルフ界はスコア主義になっている部分もありますが、人間形成・教育としても、広く伝えるようにしていきたい。

宮里美香プロ

こういうことを小学校からできるのはうらやましい。

私も、ジュニアと一緒に受けていきたいです。



検定基準

※ペーパーテストは「みんなでゴルフ」PGA発行・「JGAゴルフ規則」JGA発行から出題する。

※「実技テスト」「ペーパーテスト」それぞれ各自のレベルに合わせて受験することができます。(飛び級可能・実技、ペーパーの受験における相関はありません)

ランク	受験者目安	実技基準			ペーパーテスト基準
		認定級	テスト方法	基準	基準
A	スコアをつけてラウンド可能なジュニア	1級	通常ティーから (*1)	3オーバー以内でプレーできる	○ペーパーテストAを実施 「みんなのゴルフ」全般 「JGAゴルフ規則」第1・2章 ■エチケット・用語の定義 ■コースでのエチケット・マナー上級
		2級		6オーバー以内でプレーできる	
		3級	3ホールラウンド	9オーバー以内でプレーできる	
B	ラウンドしたことがあるジュニア	4級	150ヤードより	15打以内でプレーできる	
		5級		18打以内でプレーできる	
		6級		3ホールラウンド	21打以内でプレーできる
C	定期的に練習場で練習しているジュニア	7級	50ヤードより	15打以内でプレーできる	○ペーパーテストCを実施 「みんなのゴルフ」第1・3・7・8章 ■ゴルフコースについて ■コースでのエチケット・マナー初級 ■スコアカード
		8級		18打以内でプレーできる	
		9級		3ホールラウンド	
D	練習場に行かない、ほとんど経験したことがないジュニア	10級	練習場において		
		11級	ショット(使用クラブに応じた弾道で正確に打てるか)		
		12級	パッティング(5mの距離から半径1mの枠内に入れる)		

実技Dランク 実技基準詳細

判定基準は、部門いずれをも満たすものを認定級とする

認定級	パッティング	アプローチ	アイアン	ドライバー
10級	6/10 球	3/5 球	3/5 球	3/5 球
11級	4/10 球	2/5 球	2/5 球	2/5 球
12級	2/10 球	1/5 球	1/5 球	1/5 球

<注意事項>

(※1) Aランクの実技テスト方法のホール設定は、以下の通りとする。「370Y以上・パー5」「370Y未満～200Y以上・パー4」「200Y未満・パー3」

(※2) 実技ランクとペーパーテストランクは、それぞれ独立したものであり、飛び級受験は可能である。ただし、正しい理解のもと、受験ランク相当の学科実践、合格を得るためには、双方受験が望ましい。

(※3) ジュニアの行動によるエチケット・マナー違反は、ランク習得度に照らし、厳正に対応をいたします。

ジュニアゴルファー 育て方の違い今と昔

ナショナルチームの成績が良くなった理由

彼らを育てたものは何か？

環境・教育・仲間は練習場でどう作れるか？

アメリカの場合はどうしているの？

練習場の現場で作るためには？

ゴルフをしていない子供たちが練習場に足を踏み入れるには？

他のお稽古事との差別化ポイントとは？

コーチは何を現場ですべきか？

そのために、何を学び続けるべきか？

Brainstorm

第三部 ジュニア育成ブラッシュアップ

今日の話を受けて、子供たちに何を提供できそうですか？



練習場・ジュニアゴルフスクールとして、将来のために変えていくべきことは何でしょうか？

